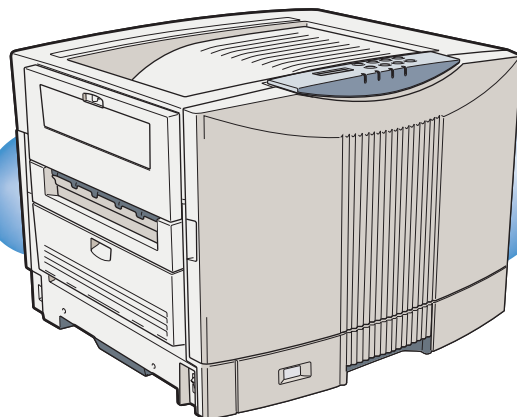
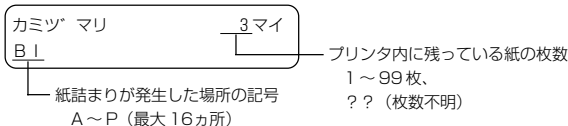
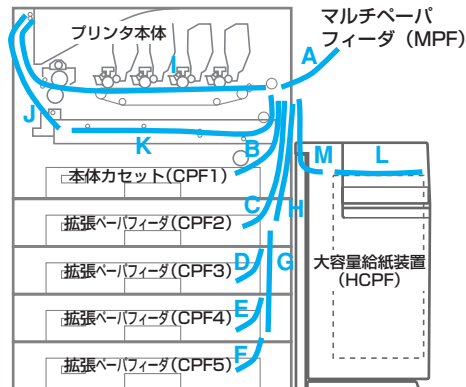
SPEEDIA N5

クイックガイド

消耗品の交換、用紙の補給、紙詰まりの処置方法が記載されています。

※ 本書に記載されていない困ったときの処置方法や用紙についての詳しい説明が、CD-ROM内の「ハードウェアマニュアル」に記載されていますので、併せてご覧ください。

1　紙詰まりの処置方法

表示パネルに紙詰まりが発生した場所と、プリンタ内に残っている紙の枚数を次のように表示します。

（表示例）

場所記号	紙詰まりが発生した場所	
A	マルチペーパフィーダ給紙部	
B	1段目カセット給紙部（本体）	
C	2段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
D	3段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
E	4段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
F	5段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）	
G	給紙ガイド部（拡張ペーパフィーダ）	
H	給紙ガイド部（本体ライトカバー）	
I	用紙搬送部→定着部	
J	排紙ターンガイド部（両面印刷中）	
K	両面印刷ユニット内部	
L	大容量給紙装置内部	大容量給紙装置に同梱の取扱説明書をご覧ください。
M	大容量給紙装置連結部	
N	オプションの排紙装置内の紙詰まりです。 各オプション装置の取扱説明書をご覧ください。	
O		
P		

用紙が詰まった場所（A～P）と枚数を確認し、以降の方法で全ての用紙を取り除いてください。

ポイント

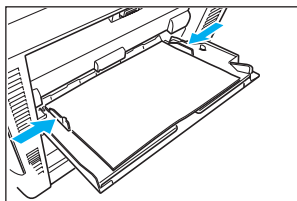
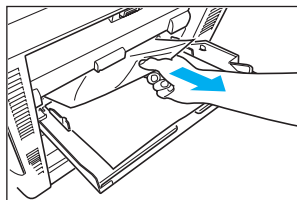
紙詰まり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。数枚印刷すると汚れは消えます。特に定着ユニットに詰まった用紙を排紙口側から引き抜くと、汚れがひどくなりますのでご注意ください。

注意！

プリンタ内に詰まっている全ての用紙を取り除いてからフロントカバーを閉めてください。場所によってはプリンタ内部に用紙を巻き込んで取れなくなる恐れがあります。用紙が取り除けなくなってしまったときは、プリンタの電源スイッチを切り、お近くのカシオテクノ・サービスステーション（CD-ROMのハードウェアマニュアル内に記載）にご連絡ください。

マルチペーパフィーダの紙詰まり（カミヅマリ A）

（表示例）

カミヅ゛ マリ	1マイ
A	

1 マルチペーパフィーダに詰まっている用紙を取り除きます。

ポイント 用紙が奥まで入って取りにくいときはプリンタ内部から取り除いてください。☞ プリンタ本体の紙詰まり（7ページ）

2 残りの用紙をセットし直します。

☞ 用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）（16ページ）

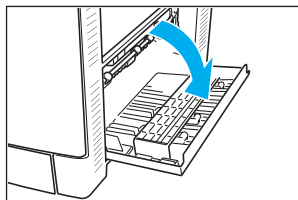
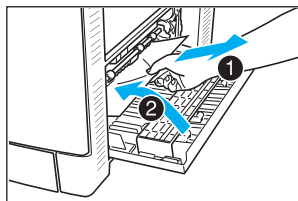
ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

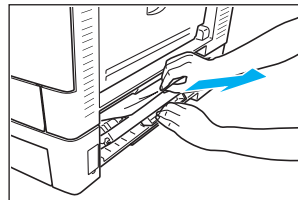
給紙ガイド内の紙詰まり（カミヅマリ G, H）

（表示例）

カミヅ゛マリ	1マイ
H	

給紙ガイド内に詰まっている用紙を取り除きます。
図の表示例（カミヅマリH）は本体右側面の給紙ガイド内に用紙が詰まっている事を示しています。

1　本体右側面の給紙ガイド（ライトカバー）を開けます。

2　詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイド（ライトカバー）を確実に閉めます。

ポイント
詰まっている用紙が破れて、プリンタ内部に残らないように注意して引き出してください。

オプションの拡張ペーパフィーダの給紙ガイド内に詰まっているときは、カミヅマリ G と表示されます。

1　オプションの拡張ペーパフィーダ右側面の給紙ガイド部を開け、詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイドを閉めます。

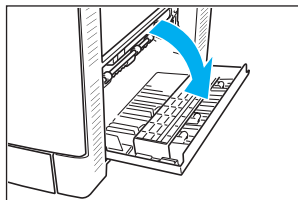
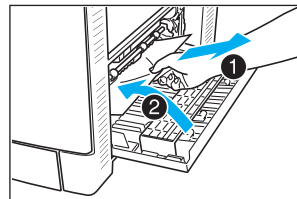
ポイント
紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

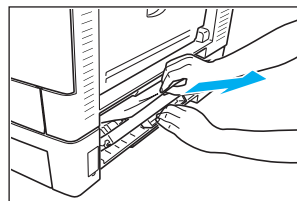
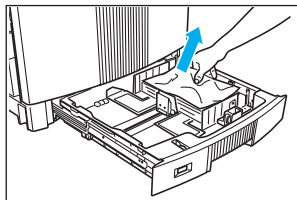
詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

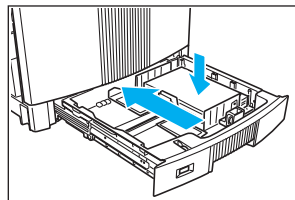
カセット内の紙詰まり（カミヅマリ B, C, D, E, F）

（表示例）

カミヅ　マリ	1マイ
B	

ペーパカセット内に詰まっている用紙を取り除きます。
図の表示例（カミヅマリB）は本体標準のカセット内に用紙が詰まっている事を示しています。オプションの拡張ペーパフィーダご使用のとき（上段から順にカミヅマリ C、D、E、F）も同様にカセット内に詰まった紙を取り除いてください。

1 本体右側面の給紙ガイド（ライトカバー）を開けます。

2 詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイド（ライトカバー）を確実に閉めます。

ポイント：詰まっている用紙が破れて、プリンタ内部に残らないように注意して引き出してください。

3 オプションの拡張ペーパフィーダ右側面の給紙ガイド部を開け、詰まっている用紙を取り除き、給紙ガイドを閉めます。

4 カセットをゆっくり引き出し、詰まっている用紙（シワになっている用紙）を取り除きます。

ポイント 詰まっている用紙が破れて、プリンタ内部に残らないように注意して引き出してください。

5 残りの用紙をセットし直し、底板（用紙）を押し下げてカチッとロックし、カセットを奥までゆっくりと差し込みます。

☞ 用紙の補給方法（ペーパカセット）（13ページ）

ポイント ペーパカセットをプリンタに差し込むときは、必ず底板（用紙）を押し下げてから、ゆっくり差し込んでください。

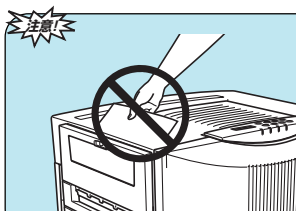
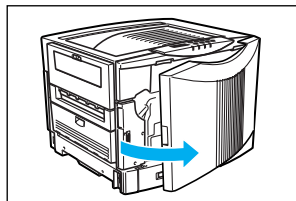
ポイント 紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

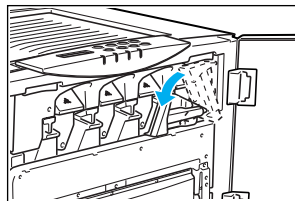
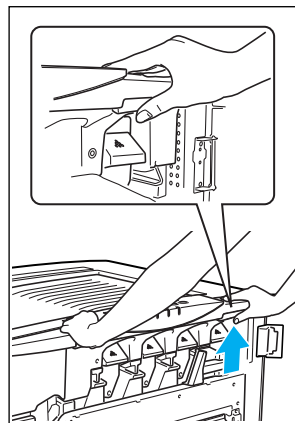
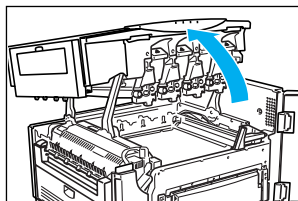
詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

プリンタ本体の紙詰まり（カミヅマリI,J）

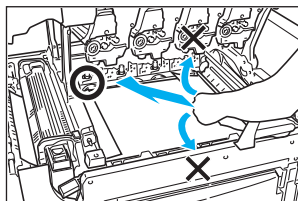
（表示例）

```
カミヅ゛マリ　　　　　　　3マイ
I J
```

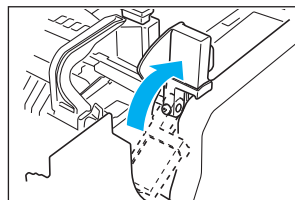
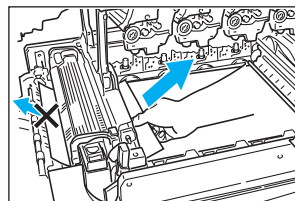
プリンタ本体の用紙搬送部から定着部に詰まっている用紙を取り除きます。

排紙口に途中まで印刷して止まっている用紙は、無理に引き抜かないでください。定着ユニットに挟まっていると思われるときは、以下の手順に従って取り除いてください。

1 フロントカバーを開けます。

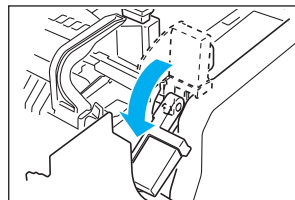
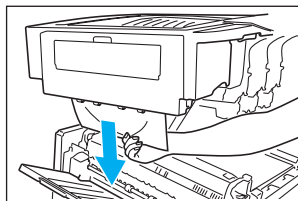
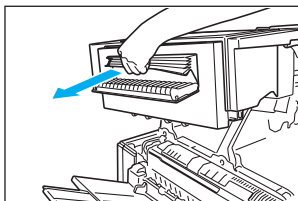
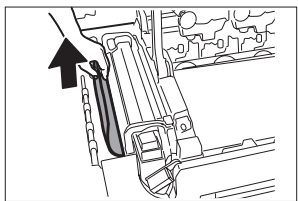
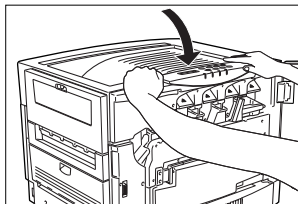
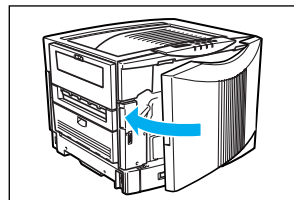
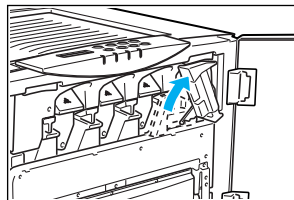
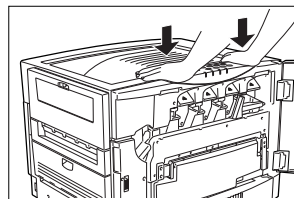
印刷中はフロントカバーを開けないでください。

2 ロックレバーを解除（左）側に倒します。

3 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

4 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

⚠ 注 意

開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

5 転写ベルト上の用紙をベルトに沿ってまっすぐ引き抜きます。

注意! 用紙を上や手前に引き抜かないでください。部品が外れたり、用紙が破れて取れなくなるなど故障の原因になることがあります。

注意! 転写ベルトに張り付いている用紙を先のとがった物ではがさないでください。転写ベルトの傷によっては交換が必要になる場合があります。

6 定着ユニットの解除レバーを図の向きにまわして、用紙をはさんでいる力を解除します。

7 定着ユニットにはさまっている用紙を、図の向きに引き抜きます。

ポイント 排紙口側に引き抜かないでください。排紙口側に引き抜くと、印刷再開後の用紙表面や裏面に汚れが付着することがあります。

8 定着ユニットの解除レバーを元の位置（ロック側）にまわします。

9 シェル側から用紙が下がっているときは引き抜きます。

10 図の排紙カバーを開けて、用紙が詰まっているときは取り除き、排紙カバーを閉めます。

11 両面印刷ユニットの入り口に入りかけて止まっている用紙を引き抜きます。
（カミヅマリＪのみ）

12 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

⚠ **注 意**

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

13 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

ロックレバーが固いときはもう１度シェルを閉めなおしてください。

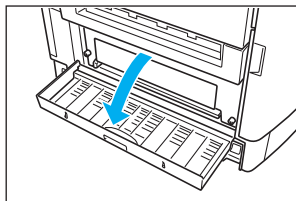
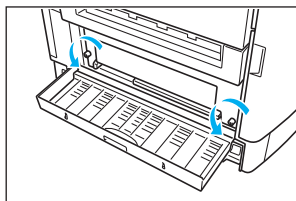
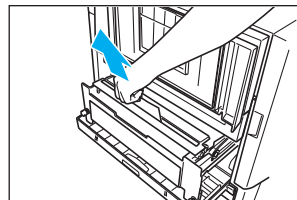
14 フロントカバーを閉めます。

ポイント　紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

両面印刷ユニット入り口の紙詰まり（カミヅマリ J）の特例

両面印刷しているときに、前記⑪の方法では詰まった用紙が取り除けない場合があります。このようなときは、以下のようにプリンタの左側面側から両面印刷ユニットを取り外して、詰まっている用紙を取り除いてください。

注意!

以下の処置を行なう前に、必ずプリンタの電源を切ってください。プリンタの電源を切ると、プリンタに残っている印刷データは消えますので、もう 1 度印刷データを送り直してください。

1 両面印刷ユニット装着口を開けます。

2 図のネジ 2 本をゆるめます。

3 両面印刷ユニットを少し引き出し、入り口付近に詰まっている用紙を取り除きます。

ポイント

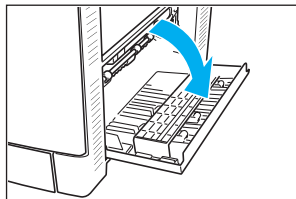
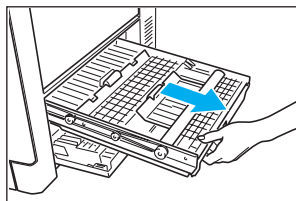
両面印刷ユニットを引き出しすぎて落とさないようご注意ください。

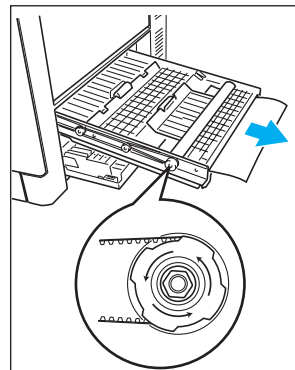
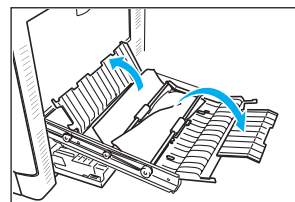
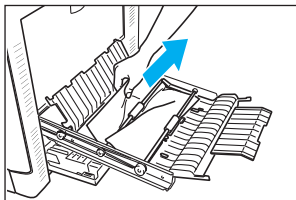
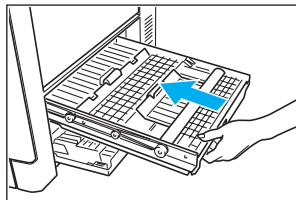
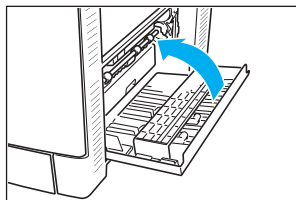
※ 逆の手順で両面印刷ユニットを取り付けます。詳しくは ☞ CD-ROM内のハードウェアマニュアル「両面印刷ユニットの取り付け」を参照してください。

両面印刷ユニットの紙詰まり（カミヅマリK）

（表示例）

カミヅ゛マリ	2マイ
K	

両面印刷ユニットの内部に詰まっている用紙を取り除きます。

1 本体右側面の給紙ガイド部（ライトカバー）を開けます。

2 両面印刷ユニットを水平にゆっくり引き出します。

注意！ 引き出した状態で両面印刷ユニットに上から力を加えないでください。無理な力を加えると故障の原因になる事があります。

3 図の紙送りダイヤルを左回りに回して、詰まった用紙を送り出します。

4 紙送りダイヤルを回しても用紙が送り出されないときは、図のフタを開けます。

5 中の用紙を取り除きます。

6 両面印刷ユニットのフタを閉め、奥に突き当たるまで水平にゆっくり差し込みます。

7 給紙ガイド（ライトカバー）を確実に閉めます。

ポイント
紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、フロントカバーを開閉すると解除します。

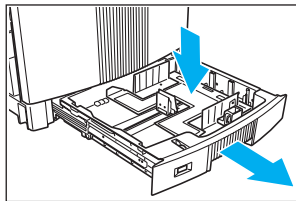
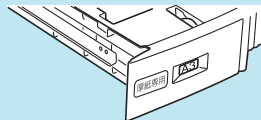
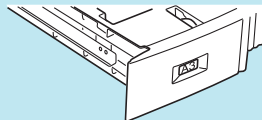
オプションの給紙装置や排紙装置をご使用のときは、オプション装置の取扱説明書をご覧いただき、内部に詰まっている用紙を取り除いてください。

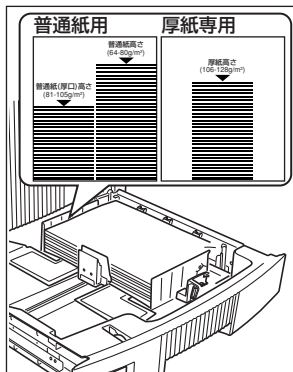
2　用紙の補給方法（ペーパカセット）

```
ヨウシ　ホキュウ
　　　　　　CPF1　　A4
```

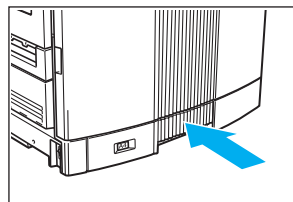
図のような表示でプリンタが停止しているときは、ペーパカセットに用紙を補給してください（図の例は本体カセットにA4サイズの用紙を補給する事を表示しています）。

ペーパカセットから印刷できる用紙の厚さはカセットによって異なります。

標準カセット：64～104g/m²　　厚紙専用カセット：105～128g/m²

1 ペーパカセットをプリンタから引き出し、底板（金属板）を押し下げてカチッとロックします。

ポイント　印刷中はペーパカセットを引き抜かないでください。

2 用紙をそろえ、印刷する面を下向きにしてカセットに入れます。

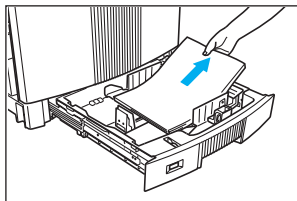
ポイント　横ガイドのラベルの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除きます。

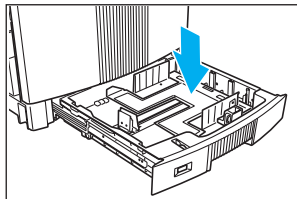
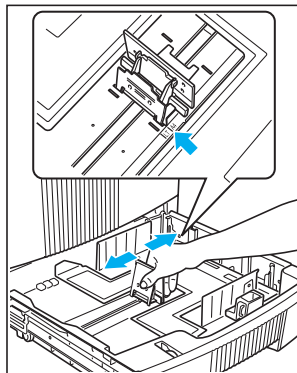
ポイント　用紙の継ぎ足しによる段差ができないように用紙をそろえてください。

3 ペーパカセットをプリンタに奥までゆっくり差し込みます。

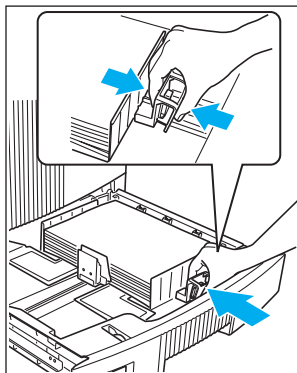
ポイント　勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになる事があります。
カセットをプリンタに差し込むときは必ず底板を押し下げて、ゆっくりとセットしてください。
底板が上がったままプリンタに差し込むと、紙詰まりの原因になります。

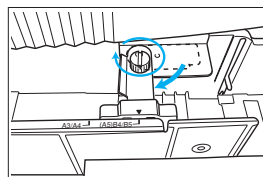
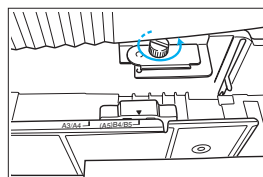
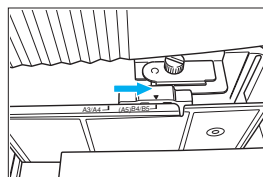
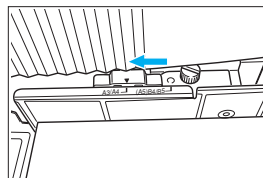
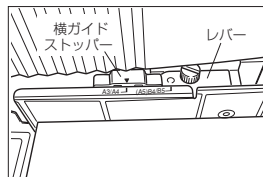
3　ペーパカセット のサイズ変更方法

ペーパカセットのガイド板を、用紙サイズに合わせて移動させることにより、6 種類（A3 縦、B4 縦、A4 横、B5 横、A5 横、レター横）のサイズに変更できます。

ポイント ガイド板を正しい位置に固定しないと、用紙サイズを正しく検出できなかったり、紙詰まりが多発することがありますので、以下の手順に従って正しい位置に固定してください。

1　ペーパカセットをプリンタから引き出し、用紙を取り出します。

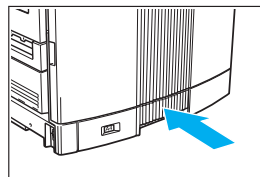
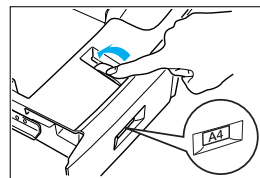
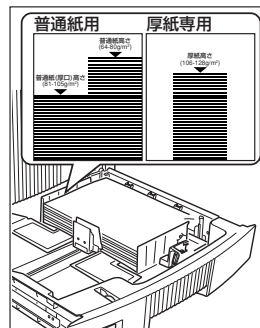
ポイント 印刷中はペーパカセットを引き抜かないでください。

2　ペーパカセットの底板（金属板）を押し下げてカチッと固定します。

3　後ガイドの固定クリップをつまみながら、使用する用紙サイズの位置に固定します。

ポイント 固定クリップのツメがカセットの溝に固定されている事を確認してください。

4　用紙をそろえ、印刷する面を下向きにカセットに入れ、横ガイドのロックレバーをつまみながら用紙に軽く当たる位置に調整します。

ポイント 横ガイドを用紙に強く押し付けないでください。紙詰まりの原因になることがあります。

5 用紙サイズに合わせて、ペーパカセット奥側の横ガイドストッパーとレバーを調整します。

<A3とA4サイズのとき>
横ガイドストッパーを左側(A3／A4)に合わせます。

<B4とB5サイズのとき>
横ガイドストッパーを右側(B4／B5)に合わせます。

<A5サイズのとき>
図のネジを取り外して、レバーを縦向きに回し、取り外したネジで固定します。

6 横ガイドのラベルの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除きます。セットできる用紙の量はカセットの種類や用紙の厚さによって違いますのでご注意ください。

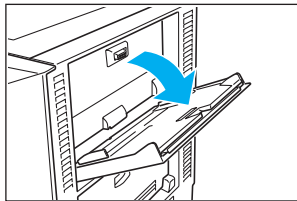
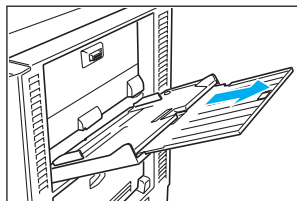
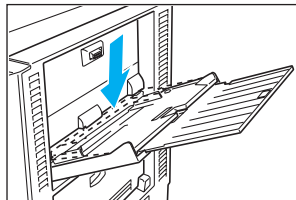
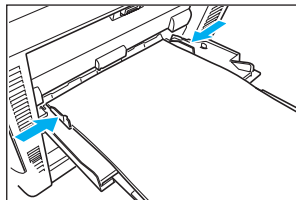
7 セットした用紙サイズに、用紙サイズダイヤルを合わせます。

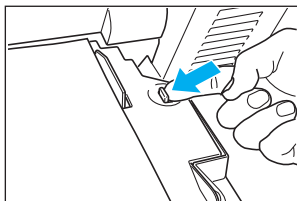
8 ペーパカセットをプリンタに奥までゆっくり差し込みます。

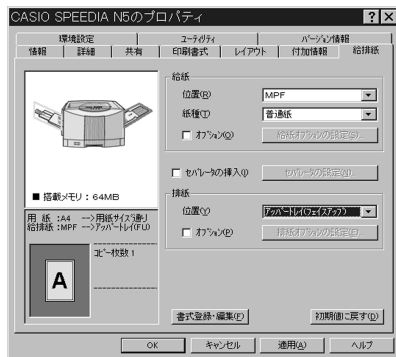
> ポイント
> 勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになる事があります。
> カセットをプリンタに差し込むときは必ず底板を押し下げて、ゆっくりとセットしてください。
> 底板が上がったままプリンタに差し込むと、紙詰まりの原因になります。

4　用紙の補給方法（マルチペーパフィーダ）

```
ヨウシ　ホキュウ
          ＭＰＦ　　Ａ３
```

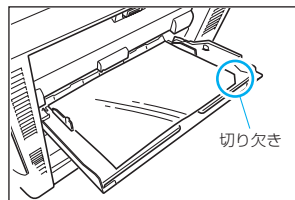
図のような表示でプリンタが停止しているときは、マルチペーパフィーダに用紙を補給してください(図の例はマルチペーパフィーダにA3サイズの用紙を補給する事を示しています)。

1　マルチペーパフィーダを開けます。

2　大きいサイズの用紙を使用するときは、補助トレイを引き出します。

3　底板が上がっているときは押し下げてロックします。

4　印刷する面を上向きに用紙をセットし、横ガイドを用紙に軽く当たる位置に調整します。

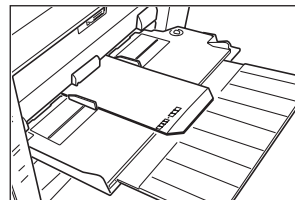
横ガイドと用紙の間にすき間があると、斜め送りや紙詰まりの原因になります。

5 セットレバーを左に押して底板のロックを解除します。

ポイント プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、給紙口をMPF排紙口をアッパートレイ（フェイスアップ）にして印刷してください。用紙サイズや紙種の設定が異なると、正しく印刷されない場合があります。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「N5 ドライバ」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

特殊紙の印刷方法

OHPフィルム、ラベル紙、厚紙、官製ハガキ、封筒などの特殊紙はマルチペーパフィーダ（MPF）にセットし、アッパートレイ（フェイスアップ）で排紙してください。

OHP フィルムのセット方向

OHPフィルムを良くさばいて、角が欠けている部分が図の向きになるようにセットしてください。

封筒のセット方向

開封した状態で図のように封筒の底の方から給紙するようにセットしてください。

ポイント プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、給紙口をMPF、排紙口をアッパートレイ（フェイスアップ）にして印刷してください。

ポイント 用紙サイズや紙種の設定が異なると、正しく印字されない場合があります。

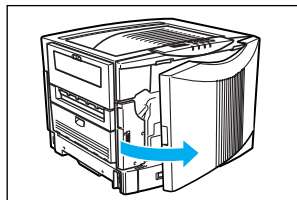
5　ドラムセットの交換方法

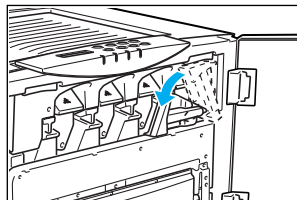
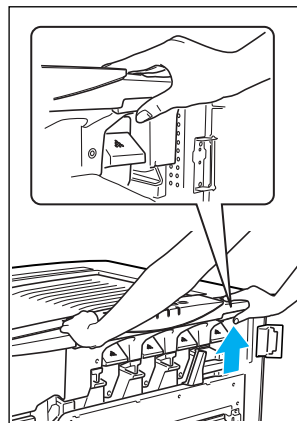
注意!

本プリンタには専用のドラムセット以外は使用できません。必ず下記専用のドラムセットをご使用ください。
ドラムセット（ブラック）：N5-DSK
ドラムセット（カラー）　：N5-DS3C
一度本プリンタ以外のプリンタに取り付けたドラムセットは、本プリンタに取り付けても、新品として検出できない為、使用できなくなります。間違えて本プリンタ以外に取り付けないようご注意ください。

（表示例）

ﾄﾞ ﾗﾑ　ｺｳｶﾝ　　　K

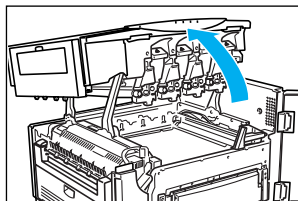
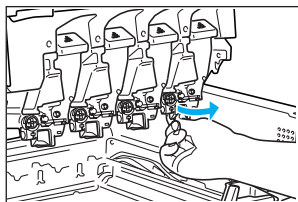
K：ブラック
Y：イエロー
C：シアン
M：マゼンタ

1　どの色のドラムセットが交換時期か確認します。
図の例ではブラックのドラムセットが交換時期です。

2　フロントカバーを開けます。

ポイント　印刷中はフロントカバーを開けないでください。

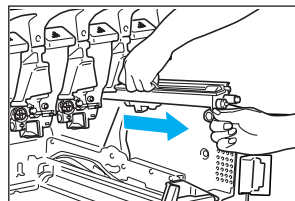
3　ロックレバーを解除側（横向き）に倒します。

4　シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

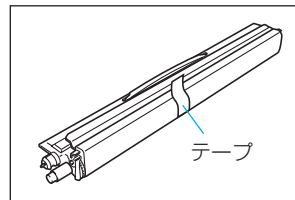
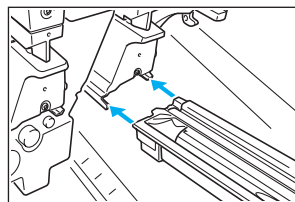
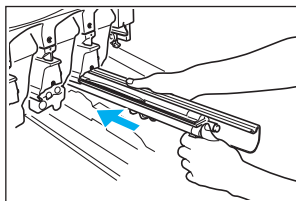
5 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

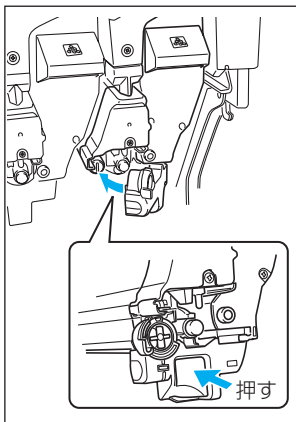
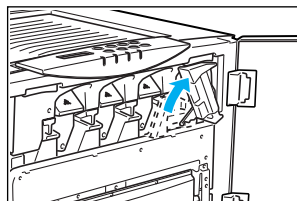
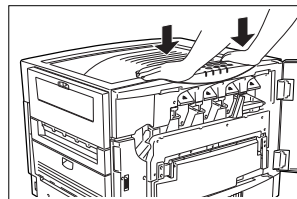
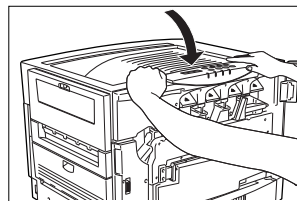
⚠ 注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

6 交換するドラムセットの連結レバーを起こします。

ポイント

連結レバーが戻らなくなる位置（90˚）まで完全に起こしてください。

7 ドラムセットの取っ手（ベルト）を持ちながら引き抜きます。

注意!

プリンタ内部にドラムセットを落とさないようご注意ください。プリンタ内部の転写ベルトに傷が付くと、交換が必要になる場合があります。

8 新しいドラムセットを箱から取り出し、テープをはがします。

9 ドラムセット挿入口のレールに、ドラムセットのツバが掛かるようにセットします。

10 ドラムカバーを手で支えながら、ドラムセットだけを押し出すように、奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

ポイント 取り外したドラムカバーは、プリンタを輸送する際に、再使用しますので保管しておいてください。

11 連結レバーを倒し、図の部分を押してカチッとロックします。

12 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

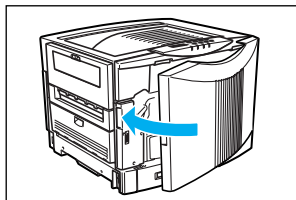
⚠ **注 意**

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

13 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

注意！ ロックレバーが固いときはもう１度シェルを閉めなおしてください。

14 フロントカバーを閉めます。

注意!

フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順*13*）がロック側（上向き）になっている事を確認してください。

6　トナーセットの交換方法

注意!

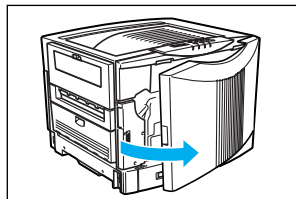
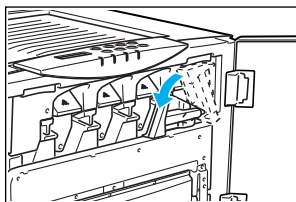
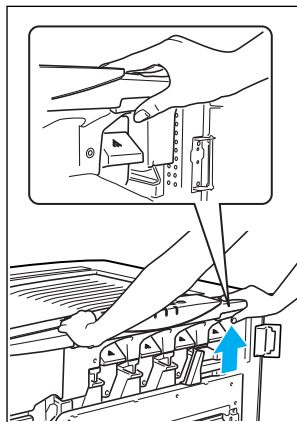
本プリンタには専用のトナーセット以外は使用できません。必ず下記専用のトナーセットをご使用ください。
トナーセット（ブラック）：N5-TSK
トナーセット（イエロー）：N5-TSY
トナーセット（シアン）　：N5-TSC
トナーセット（マゼンタ）：N5-TSM
一度本プリンタ以外のプリンタに取り付けたトナーセットは、本プリンタに取り付けても、トナー残量表示が100%に戻らなくなります。(新品と同じ枚数分の印刷はできます。)

(表示例)

トナー　コウカン　　　　K

K：ブラック
Y：イエロー
C：シアン
M：マゼンタ

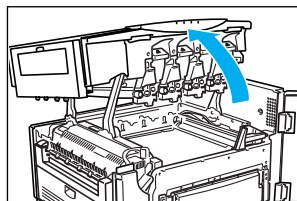
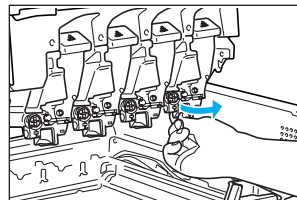
1 どの色のトナーセットが交換時期か確認します。
図の例ではブラックのトナーセットが交換時期です。

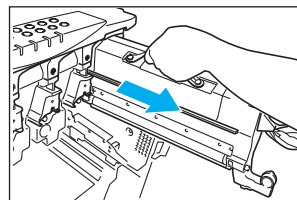
ポイント ブラックのトナーセットには定着クリーナが1本同梱されています。ブラックのトナーセットを交換するときは、一緒に定着クリーナも交換してください。☞（26ページ）

2 フロントカバーを開けます。

ポイント 印刷中はフロントカバーを開けないでください。

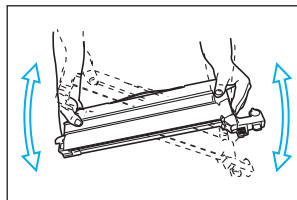
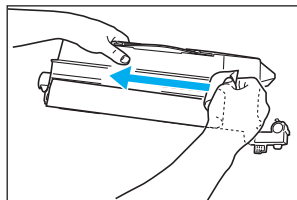
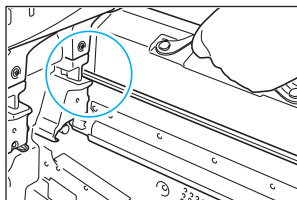
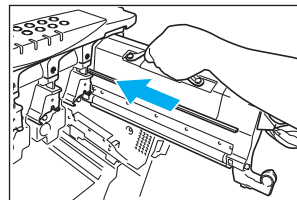
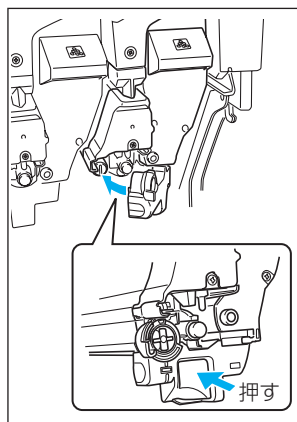
3 ロックレバーを解除側（横向き）に倒します。

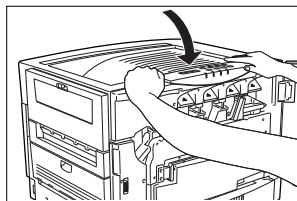
4 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

5 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

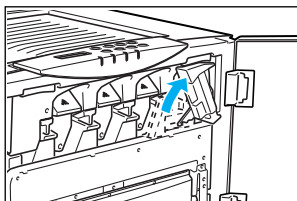
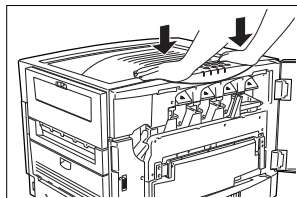
⚠ 注 意

シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

6 交換するトナーセットの連結レバーを起こします。

ポイント
連結レバーが戻らなくなる位置（90°）まで完全に起こしてください。

7 トナーセットを途中まで引き出し、取っ手（ベルト）が見えたら、取っ手を持ちながら引き抜きます。

注意！
転写ベルトの上にトナーセットを落とさないようご注意ください。転写ベルトに傷が付くと、交換が必要になる場合があります。

8 新しいトナーセットを箱から取り出し、図のように数回ゆっくり振ります。

9 トナーシールテープをはがします。

10 トナーセット挿入口のレールに、トナーセットのツバが掛かるようにセットします。

11 トナーセットを奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

12 連結レバーを倒し、図の部分を押してカチッとロックします。

ポイント ブラックのトナーセットを交換するときは、シェルを閉める前に定着クリーナを交換してください。 定着クリーナの交換方法（26ページ）

13 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

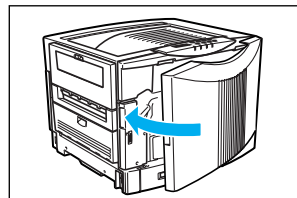
⚠ 注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

14 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

注意!

ロックレバーが固いときはもう１度シェルを閉めなおしてください。

15 フロントカバーを閉めます。

注意!

フロントカバーを閉め、モーターが回転し始めてから5秒間は以下の操作をしないでください。

① フロントカバーの開／閉

② 電源スイッチのOFF/ON

注意!

フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順*14*）がロック側（上向き）になっている事を確認してください。

7　定着クリーナの交換方法

定着クリーナは、以下の３通りのいずれかのタイミングになったときに交換してください。

1.　ブラックのトナーセットを交換するとき

トナー　コウカン　　　　K

ブラックのトナーセットには定着クリーナが１本入っています。通常はこのタイミングで交換してください。

2.　印刷面や裏面が汚れたとき

OHPフィルムや厚紙を多く印刷すると、前記１のタイミングになる前に印刷面や裏面にスジ状や斑点状の汚れが付く場合があります。このときも定着クリーナの交換時期ですので、別売の新しい定着クリーナに交換してください。

3.　「テイチャククリーナ　コウカン」表示が出たとき

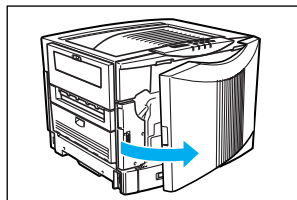
テイチャククリーナ　コウカン

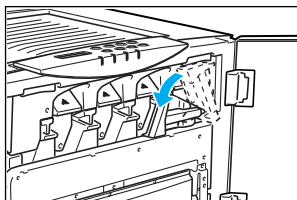
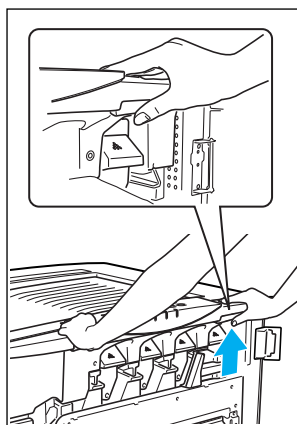
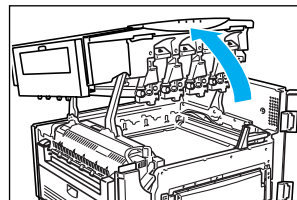
前記２のようにブラックのトナーセットを交換する前に定着クリーナを交換すると、次回の定着クリーナの交換タイミングをメッセージで表示しますので、新しい定着クリーナに交換してください。前記１のブラックトナーセットを交換したときに、定着クリーナを交換し忘れたときもこの表示が出ます。

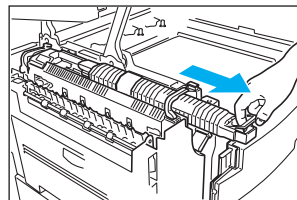
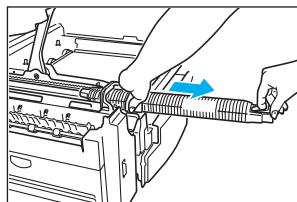
定着クリーナを交換しないで印刷し続けると、定着ユニットを破損する恐れがあります。早めに新しい定着クリーナに交換してください。

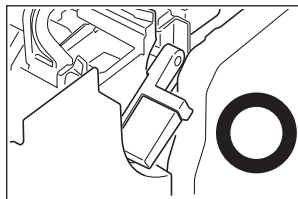
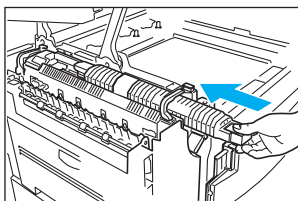
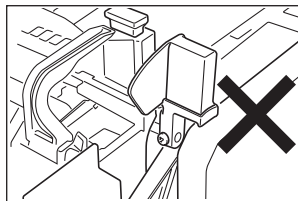
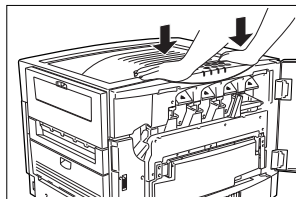
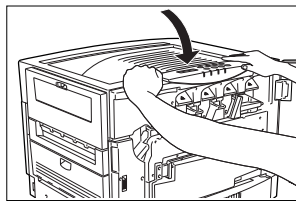
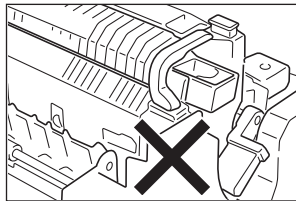
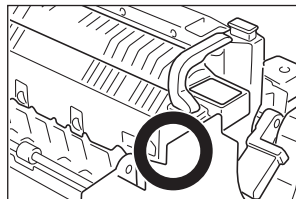
新品同様でも１度プリンタに取り付けた事のある定着クリーナに交換してもエラーは解除されません。また交換時期も延長されませんので、１度取り付けた定着クリーナは最後までご使用ください。

⚠ 注 意

定着ユニットは高温になりますので、定着クリーナの交換はプリンタのシェルを開けたまま、定着ユニットが冷えるのを（約15分程度）待ってから行なってください。

1 フロントカバーを開けます。

印刷中はフロントカバーを開けないでください。

2 ロックレバーを解除側（横向き）に倒します。

3 シェル解除ボタン（右側の取っ手）を押しながらゆっくり持ち上げます。

4 シェルをいっぱいに止まるまで開けます。

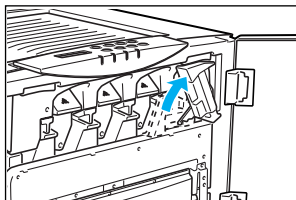
シェルは最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする恐れがあります。

5 定着クリーナのレバーを引き上げながら手前に引き出して、古い定着クリーナを取り外します。

⚠ 注 意

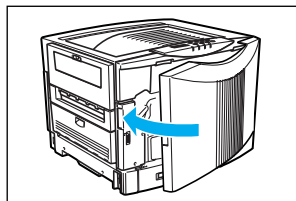
定着クリーナは高温になりますので、必ず図のようにフェルトの部分を持ってください。他の部分に手を触れるとやけどをする事があります。

定着ユニットのレバーが解除側(上向き)になっていると定着クリーナが正しく取り付けられません。ロック側(斜め下向き)になっている事を確認してください。

6 新しい定着クリーナを、図のように定着ユニットの溝に沿ってスライドさせながら、カチッとロックする位置に取り付けます。

定着クリーナが、浮いた状態で取り付けられていない事を確認してください。

定着ユニットの解除レバーが、定着クリーナに当たって解除側（上向き）に回せないときは、定着クリーナが正しく取り付けられていません。もう1度定着クリーナを取り付け直してください。

7 シェルをゆっくり閉め、両手で押してカチッとロックします。

注 意

シェルを閉めるときは、周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

8 ロックレバーをロック側（上向き）に起こしてロックします。

注意!
ロックレバーが固いときはもう１度シェルを閉めなおしてください。

9 フロントカバーを閉めます。

注意!
フロントカバーが閉まらないときは、ロックレバー（手順*8*）がロック側（上向き）になっている事を確認してください。

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画促進課

〒151-8543 東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

ページプリンタ営業部	電話 03-5334-4550
西日本営業部	電話 06-6243-2100
中部営業部	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道支社	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北支社	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国支社	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国支社	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州支社	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

クイックガイド

2001年9月14日　第6版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。